

Observership in Queens Medical Center (Hawaii)

鶴田 統久 (Motohisa Tsuruta)

所属：静岡医療センター JS program

医師経験年：4 年目

期間：2019 年 11 月の 1 ヶ月

診療科：General Surgery

滞在：Airbnb で探した Chinese american の 1 室

通勤手段：自転車

最初の 2 週間は General Surgery(Blue team)で R3 と chief のチームで基本的には朝のチームカンファ(6:30)から参加し、手術・病棟管理をメインに見学しました。甲状腺・副甲状腺から胸腹部、軟部組織、血管に至るまで全て general surgery の領域です。Attending によって得意領域はありますが、基本的に全ての attending が general surgery として様々な領域の手術を行なっています。それに resident が執刀医で教育されながら手術を行なっています。da Vinci 症例も

多くヘルニアから結腸切除まで幅広く使われている印象です。

最後の2週間は Trauma team を見学しました。2 チームあり隔日でその日の trauma call の担当チームが入れ替わります。Trauma call には modified trauma call と full trauma call があり、modified は外傷外科医、外科レジデント、診療看護師、看護師、技師、薬剤師、SW が集まってきますが、full trauma call となると加えて麻酔科、ICU Dr、オペ看が集まってきます。それぞれクライテリアがあり、trauma call をかけるのは電話対応している救急の看護師です。日本と比較して鋭的外傷が多いですが、ハワイは比較的鈍的外傷が多いです。

毎週水曜日の朝は conference day で M&M やレジデント同士の勉強会が開かれます。ABSITE の問題を解いたりと個人的にはこの日が好きです。

私の場合は今年マッチを目指していたので、できるだけ多くの Resident と Attending と会話をし、自分を知ってもらおうということと、日本と米国の手術と周術期管理の差異を感じることを目標に朝から晩まで病院にいました。

土日は observer ということで休めと言われたので面白い症例や外傷がない限りは行かず、いい症例があれば呼んでもらうようにしていました。

米国の場合は長く病院にいたことが美德ではなく、定められた時間内にしっか

りと仕事ができるかが重要であり resident は 80hours rule に則って週 80 時間以上はなるべく働かせないようになっています。もちろん外科なので少しオーバーする事はありますが、。

全体的には 1 ヶ月で十分に施設や教育体制、手術を見学するには十分です。しかし、医療内容や周術期管理、さらに細かな箇所を知るにはやはり不十分でもっと米国での医療を体験したいと思いました。

より詳しく聞きたい方は是非 JS プログラムもしくは静岡医療センターまで連絡をお願いします。

